

「デジタル鹿砦社通信」より

## 佐野茂樹さんを偲ぶ会(3月22日)

なんの因縁かー「カウンター大学院生リンチ事件」被害者  
M君の父親と、学生時代に共に闘っていた！

鹿砦社代表 松岡利康 2020年3月30日



会場には、若き頃と最近の佐野さんの遺影が掲げられた

佐野茂樹という古い伝説的な革命家が亡くなり、偲ぶ会(3月22日)に出席してきました。

会場は京都・キエフで、ここは歌手・加藤登紀子さんの実家が経営され、今はお兄さんが社長です。

登紀子さんのお連れ合いは、ご存知、藤本敏夫(元反帝全学連委員長)さんで、寮(同志社大学此春[ししゅん]寮)の大先輩です。この方も伝説的な方です(蛇足ながら、藤本さんはここ甲子園出身で、鳴尾高校から同志社の新聞学専攻に進まれました。この界限出身の著名人としては、芦田愛菜、あいみょんらがいます。そうそう、私に手錠を掛けた神戸地検の宮本健志検事もこのあたりの出身)。

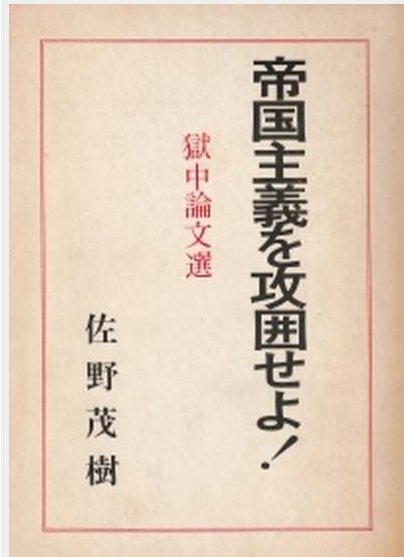


久しぶりに本宅的なロシア料理を味わった

キエフは、寮関係の集まりや、同志社関係の集まりにもよく使われてきました。私のいた寮の学生も、藤本さんや、藤本さんの片腕で店長を務めていた寮の先輩の村上正和さんの縁で、よくアルバイトしていました。

佐野さんは、60年安保闘争で国会前で亡くなった樺(かんば)美智子さんと、神戸高校の同級生と  
のこと、佐野さんは京大、樺さんは東大(1浪して1957年入学)ですが、共に新左翼の始まりとい  
われる「ブント」を起ち上げたメンバーです。

1956年に京大入学ということで、すぐに学生運動に飛び込み、60年安保闘争の際の全学連主流  
派、これを支えたブントの幹部として歴史的な闘いの先頭に立ちます。佐野さんは58年には全学  
連副委員長に就き、樺さんは東大文学部学友会副委員長という要職にありました。



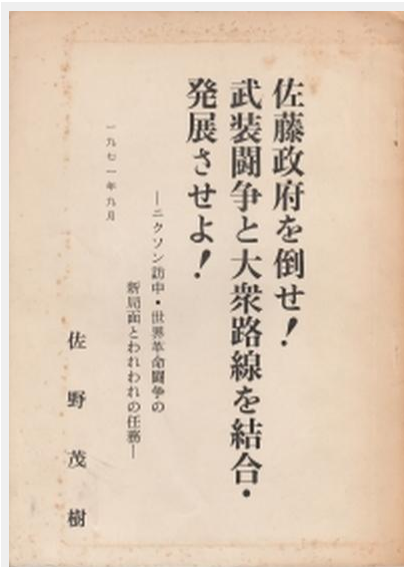
佐野さんの著書『帝国主義を攻囲せよ!』

樺さんが佐野さんに淡い恋心を抱いていたということは、当時のブントのトップ・島成郎(故人。精  
神科医。沖縄に渡り離島医療の先駆け)さんの著書にも記され、“公然の秘密”のようでした。この  
世代の方々が、ずいぶん出席されていました。

その後、ブント再建(第2次ブント)で議長に就任、60年代後半の学園闘争、70年安保—沖縄闘  
争を指導しました。

第2次ブントは、70年を前に分裂するのですが、京都では、同志社、京大を中心に、いわば“赤ヘ  
ルノンセクト”の学生運動は健在で、私たち同志社大学全学闘は京大C戦線(レーニン研。70年末  
に結成)と共闘し、「全京都学生連合会」(京学連)の旗の下、70年代初頭の沖縄—三里塚—学費  
闘争を闘いました。

数としては同大8、京大1、その他1という按配でした。人数としては同大が圧倒的に多かったの  
ですが、京大は、まさに少数精鋭で、リーダーの吉国恒夫(故人。専修大学教授)さん、行動隊長に  
してオルガナイザーの片岡卓三(現在医者)さんを中心に、理論的にも他の追随を許しませんで  
した。同大には卓越した理論家はいなくて(苦笑)、C戦線の機関誌から“密輸入”したりしていま  
した。



### 同じく『佐藤政府を倒せ！』

吉国さんは、矢谷暢一郎さんと共に 68 年御堂筋突破デモを指導し共に逮捕・起訴されています（当時裁判官として、この判決文[かなりの寛刑！]を書かれた方で現在弁護士のA先生が、今、カウンターメンバーとの裁判で当社の代理人として神原元弁護士と一戦を交えています）。このC戦線をバックで支えたのが佐野さんで、C戦線こそがブント解体後の学生運動や革命運動の未来を担うと考えられていた、と思います。吉国さんや片岡さん、他のメンバーらと交流し私もそう感じました。『帝国主義を攻囲せよ！』とか『佐藤政府を倒せ！』など佐野さんの著書やパンフレットも一知半解ながら熟読しました。

ところで、この通信をご覧の方には馴染み深い「カウンター大学院生リンチ事件」の被害者M君の父親がC戦線の当時のメンバーだということをM君から聞いていたのですが、複数の証言を得ることはできませんでしたので、確証がありませんでした。

その集会の呼びかけ人を務められた片岡卓三さんの号令一下、当時のC戦線のメンバーが数多く出席されていました。大体私と同じ 70 年入学でした。



樺美智子さんの遺稿集『人しれず微笑まん』（三一新書）。われわれの世代の必だった。

彼らにたずねると、みなさんM君の父親をご存知でした。「私たちはリンチされた息子の救済と支援活動をやって来た」と言うと、みなさん驚いていました。

C戦線(レーニン研)は、毛派(中国派)のグループと合体し全国党派を目指しマルクス主義青年同盟(マル青同)を結成しますが、これはあえなく崩壊します。片岡さんらは、この過程で離脱し、結成後すぐに内部抗争が起き、トップの吉国さんは「死刑宣告」を受け放逐されます(彼はその後、矢谷さん同様日本を離れ、アメリカ西海岸やジンバブエの大学に入学し、日本のジンバブエ研究の第一人者になります)。

他のメンバーも離脱し、各々の人生を歩み始めます。しかし、そこは“腐っても京大”、私たちと一緒に同大学費決戦で逮捕・起訴され、一念発起して一級建築士になったB君同様、弁護士になったりしています。組織が解体して司法試験を目指したCさんは、たった1科目しか取得しておらず再入学し30歳になって司法試験に合格、今は弁護士になっておられます。

また、もう一人のD弁護士は、15年前の私の逮捕事件で「憲法21条に則った、公正で慎重な審理を求める署名」に賛同人として署名をしてくれていました。あらためてお礼を申し上げます。

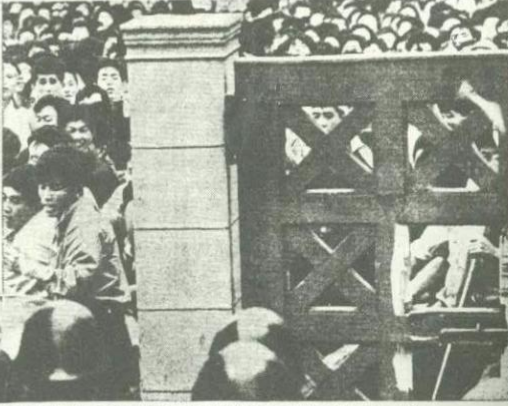
それにしても、まさか私たちが支援したリンチ被害者M君の父親が、学生時代に共闘していたとはビックリ仰天でした！

（1）
（2）
（3）
（4）
（5）
（6）
（7）
（8）
（9）
（10）
（11）
（12）
（13）
（14）
（15）
（16）
（17）
（18）
（19）
（20）
（21）
（22）
（23）
（24）
（25）
（26）
（27）
（28）
（29）
（30）
（31）
（32）
（33）
（34）
（35）
（36）
（37）
（38）
（39）
（40）
（41）
（42）
（43）
（44）
（45）
（46）
（47）
（48）
（49）
（50）
（51）
（52）
（53）
（54）
（55）
（56）
（57）
（58）
（59）
（60）
（61）
（62）
（63）
（64）
（65）
（66）
（67）
（68）
（69）
（70）
（71）
（72）
（73）
（74）
（75）
（76）
（77）
（78）
（79）
（80）
（81）
（82）
（83）
（84）
（85）
（86）
（87）
（88）
（89）
（90）
（91）
（92）
（93）
（94）
（95）
（96）
（97）
（98）
（99）
（100）

主張
頭を高く最前列へ
学友の死に応え、最後の勝利を
全学連中央執行委員会



故榎美智子さん



（1）
（2）
（3）
（4）
（5）
（6）
（7）
（8）
（9）
（10）
（11）
（12）
（13）
（14）
（15）
（16）
（17）
（18）
（19）
（20）
（21）
（22）
（23）
（24）
（25）
（26）
（27）
（28）
（29）
（30）
（31）
（32）
（33）
（34）
（35）
（36）
（37）
（38）
（39）
（40）
（41）
（42）
（43）
（44）
（45）
（46）
（47）
（48）
（49）
（50）
（51）
（52）
（53）
（54）
（55）
（56）
（57）
（58）
（59）
（60）
（61）
（62）
（63）
（64）
（65）
（66）
（67）
（68）
（69）
（70）
（71）
（72）
（73）
（74）
（75）
（76）
（77）
（78）
（79）
（80）
（81）
（82）
（83）
（84）
（85）
（86）
（87）
（88）
（89）
（90）
（91）
（92）
（93）
（94）
（95）
（96）
（97）
（98）
（99）
（100）

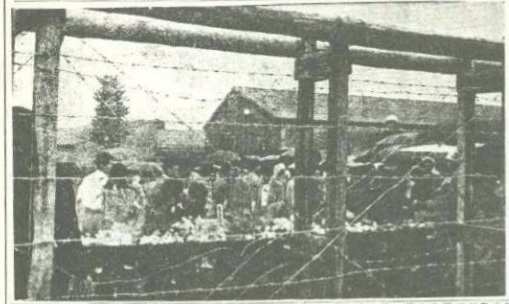


（1）
（2）
（3）
（4）
（5）
（6）
（7）
（8）
（9）
（10）
（11）
（12）
（13）
（14）
（15）
（16）
（17）
（18）
（19）
（20）
（21）
（22）
（23）
（24）
（25）
（26）
（27）
（28）
（29）
（30）
（31）
（32）
（33）
（34）
（35）
（36）
（37）
（38）
（39）
（40）
（41）
（42）
（43）
（44）
（45）
（46）
（47）
（48）
（49）
（50）
（51）
（52）
（53）
（54）
（55）
（56）
（57）
（58）
（59）
（60）
（61）
（62）
（63）
（64）
（65）
（66）
（67）
（68）
（69）
（70）
（71）
（72）
（73）
（74）
（75）
（76）
（77）
（78）
（79）
（80）
（81）
（82）
（83）
（84）
（85）
（86）
（87）
（88）
（89）
（90）
（91）
（92）
（93）
（94）
（95）
（96）
（97）
（98）
（99）
（100）

大衆の目を安保に
国会構内集会を勝取る

（1）
（2）
（3）
（4）
（5）
（6）
（7）
（8）
（9）
（10）
（11）
（12）
（13）
（14）
（15）
（16）
（17）
（18）
（19）
（20）
（21）
（22）
（23）
（24）
（25）
（26）
（27）
（28）
（29）
（30）
（31）
（32）
（33）
（34）
（35）
（36）
（37）
（38）
（39）
（40）
（41）
（42）
（43）
（44）
（45）
（46）
（47）
（48）
（49）
（50）
（51）
（52）
（53）
（54）
（55）
（56）
（57）
（58）
（59）
（60）
（61）
（62）
（63）
（64）
（65）
（66）
（67）
（68）
（69）
（70）
（71）
（72）
（73）
（74）
（75）
（76）
（77）
（78）
（79）
（80）
（81）
（82）
（83）
（84）
（85）
（86）
（87）
（88）
（89）
（90）
（91）
（92）
（93）
（94）
（95）
（96）
（97）
（98）
（99）
（100）

偶然死ではなく
殺害されたのだ



佐久間 元・著
世界革命の挫折

安保斗争日誌
1959年
1月1日 安保法公布
1月17日 安保法反対国民大会
1月27日 安保法反対国民大会
2月1日 安保法反対国民大会
2月11日 安保法反対国民大会
2月27日 安保法反対国民大会
3月1日 安保法反対国民大会
3月11日 安保法反対国民大会
3月27日 安保法反対国民大会
4月1日 安保法反対国民大会
4月11日 安保法反対国民大会
4月27日 安保法反対国民大会
5月1日 安保法反対国民大会
5月11日 安保法反対国民大会
5月27日 安保法反対国民大会
6月1日 安保法反対国民大会
6月11日 安保法反対国民大会
6月27日 安保法反対国民大会
7月1日 安保法反対国民大会
7月11日 安保法反対国民大会
7月27日 安保法反対国民大会
8月1日 安保法反対国民大会
8月11日 安保法反対国民大会
8月27日 安保法反対国民大会
9月1日 安保法反対国民大会
9月11日 安保法反対国民大会
9月27日 安保法反対国民大会
10月1日 安保法反対国民大会
10月11日 安保法反対国民大会
10月27日 安保法反対国民大会
11月1日 安保法反対国民大会
11月11日 安保法反対国民大会
11月27日 安保法反対国民大会
12月1日 安保法反対国民大会
12月11日 安保法反対国民大会
12月27日 安保法反対国民大会
1960年
1月1日 安保法反対国民大会
1月11日 安保法反対国民大会
1月27日 安保法反対国民大会
2月1日 安保法反対国民大会
2月11日 安保法反対国民大会
2月27日 安保法反対国民大会
3月1日 安保法反対国民大会
3月11日 安保法反対国民大会
3月27日 安保法反対国民大会
4月1日 安保法反対国民大会
4月11日 安保法反対国民大会
4月27日 安保法反対国民大会
5月1日 安保法反対国民大会
5月11日 安保法反対国民大会
5月27日 安保法反対国民大会
6月1日 安保法反対国民大会
6月11日 安保法反対国民大会
6月27日 安保法反対国民大会
7月1日 安保法反対国民大会
7月11日 安保法反対国民大会
7月27日 安保法反対国民大会
8月1日 安保法反対国民大会
8月11日 安保法反対国民大会
8月27日 安保法反対国民大会
9月1日 安保法反対国民大会
9月11日 安保法反対国民大会
9月27日 安保法反対国民大会
10月1日 安保法反対国民大会
10月11日 安保法反対国民大会
10月27日 安保法反対国民大会
11月1日 安保法反対国民大会
11月11日 安保法反対国民大会
11月27日 安保法反対国民大会
12月1日 安保法反対国民大会
12月11日 安保法反対国民大会
12月27日 安保法反対国民大会

次号予告
学連大会特集号!!
……乞う期待……

60年安保闘争の激闘と榎さんの死を報じる『全学連通信』1960年6月25日号(1/3)



